



綾部市立病院 院長
高升正彦

新年度を迎えて

新緑が目鮮やかな季節となりました。皆様におかれましては健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。この春、私たちの綾部市立病院では医師4名、研修医1名、管理栄養士1名、臨床工学技士1名、看護師14名の計21名という大変多くの新規採用職員を迎え入れることができました。オリエンテーションおよび初期研修を行い、既に各部署で勤務を始めています。将来の地域医療を担っていく若い人たちに温かいご支援をお願いいたします。

さてこの「おあしす」は綾部市立病院の広報誌として、2003年から年3回、5月、9月、1月に定期的に発行してまいりました。今回で第59号になります。この度、病院のことを市民の皆様にもっと知っていただきたいとの思いで、全戸配布をさせていただくこととしました。どうぞよろしくお願いいたします。また他にも病院の公式LINEを開始し、看護体験などのイベント情報のほか、病院各部署の取組み、健康アドバイスなどを紹介してまいりたいと思います。

また新型コロナウイルス感染症のためにこの3年間、「市民のための学術講演会」の開催を見送ってきましたが、病院のことを知っていただくとも良い機会ですので、今年は何とか工夫して開催したいと考えております。これらのことを通して病院の状況を発信し、より身近な病院として感じていただけるよう取り組んでまいります。当院の病院理念であります「患者さま本位の医療に努め、地域社会から愛され、親しまれ、心あたまる病院」を目指してこれからも努力してまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。申し上げます。

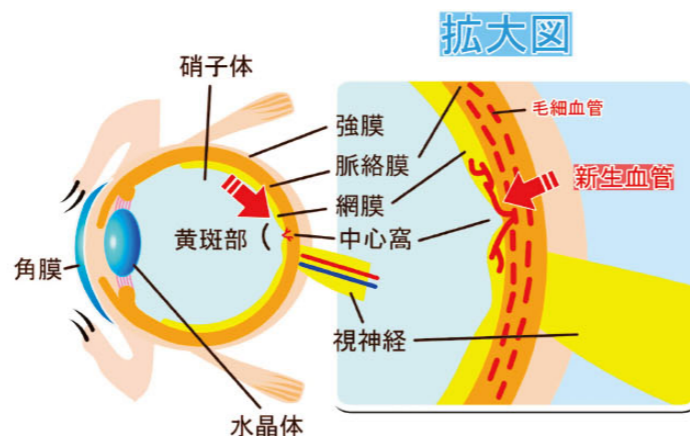
医師の健康アドバイス Doctor's Health Advice



かれいおうはんへんせい 加齢黄斑変性

はじめに

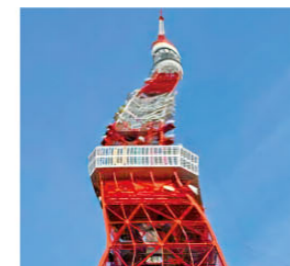
加齢黄斑変性は加齢に伴って網膜の中心部にある黄斑部が変性する疾患で、高齢者に多く見られます。網膜はカメラで置き換えるとフィルムの役割を果たしており、黄斑部は視力の中心を担う部位ですので生活の質に大きな影響を与えます。



症状

初期症状としては中心視野のぼやけ感や歪みが現れることがあります。症状の進行に伴い、視力低下や色覚異常が起こることもあります。特に、細かい文字や模様が見にくくなることが多いです。症状の進行は個人差があり、進行が早い

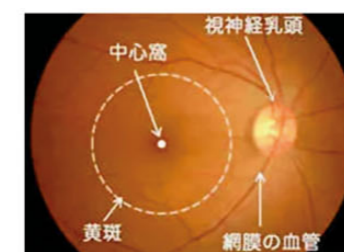
場合もあれば、進行が遅い場合もあります。程度によっては、読書や運転などの日常生活に支障をきたすことがあります。



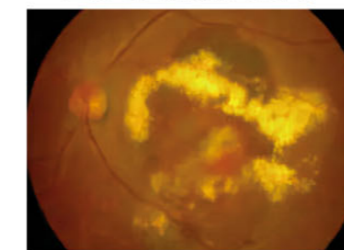
検査、診断

検査には一般的な視力検査などの他に眼底検査があります。眼底検査では散瞳薬を点眼し、瞳を開き顕微鏡やレーザー光などを用いて、黄斑部を拡大して観察します。OCTと呼ばれる光の干渉により断層像を作り出す検査では黄斑部の状態を詳しく観察することができます。

また、蛍光眼底造影検査では、造影剤を静脈内注射した後に網膜血管に流れる経過を撮



正常な画像(眼底検査)



滲出性黄斑変性(眼底検査)

画像提供: ノバルティス ファーマ株式会社

影することで変性部分や活動性を確かめる検査です。これらの検査により加齢黄斑変性の状態を確かめ、また進行の程度を把握することで治療選択の助けとなります。

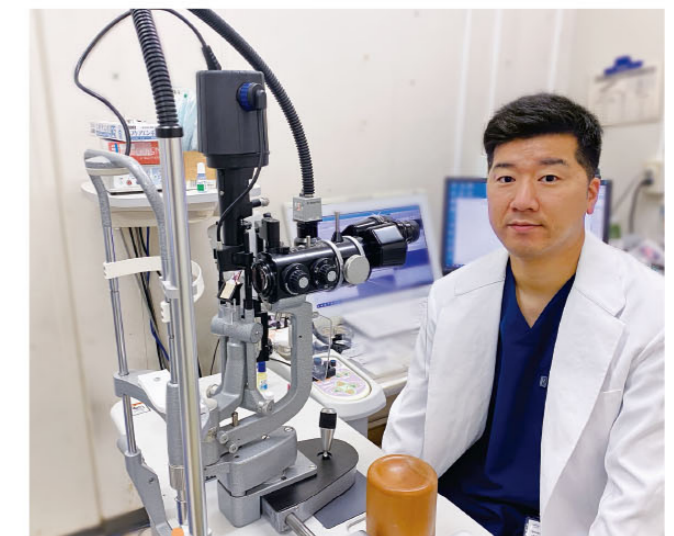
診断としては大まかには3つに分類され、前駆病変と呼ばれる前段階の状態、また既に黄斑部に変性が起こっている中でも萎縮性、滲出性があります。滲出性の加齢黄斑変性では黄斑部の異常な血管新生により出血・浮腫を進行性に引き起こすことがあります。

治療、予防

滲出性の加齢黄斑変性の治療には、抗VEGF薬を用いた硝子体内注射が一般的な治療法の1つです。抗VEGF薬は、新生血管の成長を抑制することで、黄斑部の浮腫や出血を抑える効果があります。硝子体内注射は、直接眼球内に抗VEGF薬を注入する方法で、通常数か月に一度行われ、病状の進行状況に応じて調整されます。その他には直接新生血管を潰すレーザー治療などがあります。いずれの場合も副作用や合併症もあるので患者さんと相談したうえで治療させていただきます。

予防には、健康的な生活習慣を維持することが重要です。例えば、タバコを控える、栄養豊富な食品を摂取する、適切な運動を行うなどが挙げられます。

早期発見・治療が非常に重要であるため、定期的な眼科検診を受け、医師の指示に従って適切な対応をすることが必要です。



眼科

みずの のぶひと
医長 水野 暢人

●日本眼科学会専門医